

**10月13日 の海外相場**

COMEX/NYMEX (\$)	Gold (Dec)	Silver (Dec)	Platinum (Oct)	Palladium (Dec)
Open	3,990.1	47.650	1,666.8	1,467.0
High	4,038.6	48.620	1,679.5	1,523.5
Low	3,961.2	46.700	1,614.0	1,408.5
Settlement	4,000.4	47.247	1,623.0	1,470.6
Change	27.8	0.090	-33.4	15.6
EFP	\$17.00	\$23.00	- \$20.00	- \$15.00
			\$20.00	\$30.00
			\$20.00	\$40.00

**Fixing Prices**

LBMA/LPPM Fixing (\$)	AM	PM
Gold	4,070.90	4,095.95
Silver	51.240	-
Platinum	1,651.00	1,645.00
Palladium	1,458.00	1,451.00

**コメント**
**Precious Metal**

金：上昇、銀：上昇、プラチナ：上昇、パラジウム：上昇

10日、トランプ米大統領はSNS上で「中国の国家主席との会談を予定していたが、現時点では実施する理由がなくなった」と投稿した。その後、週末にかけて米国側が対中姿勢をやや穩健化させたほか、ベッセント米財務長官が同日、「米中首脳会談は予定通り開催される見通しである」と述べ、さらに「中国政府が9日にレアース輸出規制を発表したことで一時的に関係が悪化したものの、その後の対話再開により緊張が大幅に緩和した」と説明した。これを受け、市場では米中貿易摩擦の緩和への期待が高まった。一方で、依然残る米中摩擦の再燃懸念やハト派な高官発言を基にしたFRBへの利下げ期待などから、貴金属市場では買いが優勢となり、メタルへ買いが入った。金はスポット価格で一時1オンス4115ドルの過去最高値を更新した。銀に関しては1オンス52.5ドルを上回り、1980年以来の最高値を更新した。

**FX**

ドル円：上昇、ユーロドル：下落

週末にかけてトランプ米大統領が中国に対してやや穩健な姿勢を見せたことから、米中貿易摩擦の緩和期待が高まり時間外取引のダウ先物が上昇した。この動きを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退し、為替市場では円売り・ドル買いが優勢となった。ユーロ／ドル相場では、米中貿易摩擦再燃への警戒感が後退したことにより、フランスの政治・財政を巡る先行き不透明感が意識され、ユーロ売り・ドル買いが進行した。24時前には一時1.1558ドルと日通し安値を更新した。

ドル円：152.26 ユーロドル：1.1573ドル

**10月13日 週の経済指標一覧**

	10/13 (月)	10/14 (火)	10/15 (水)	10/16 (木)	10/17 (金)
USA	前	予	前	予	アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 09月 [前月比]
			前	0.4% 予 0.4%	アメリカ・小売売上高 09月 [前月比]
			前	2.9% 予 3.1%	アメリカ・小売売上高 09月 [自動車除く] [前月比]
	前	予	前	0.3% 予 0.3%	アメリカ・フィラデルフィア連銀景況指数 10月
			前	3.1% 予 3.1%	アメリカ・消費者物価指数 (CPI) 09月 [食品・エネルギー除く] [前年比]
	前	予	前	予	前
Asia	前	予	前	予	前
			前	予	前
	前	予	前	予	前
Europe	前	予	前	予	前
			前	予	前
	前	予	前	予	前
	前	予	前	予	前

Source: みんかぶ

**COMEX/NYMEX 投機的建玉**

# 米政府閉鎖の影響により情報公開無

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。